

# 西川 コミュニティだより

第57号

■発行／西川地域コミュニティ協議会 電話 0256-88-5900  
FAX 0256-78-7544  
■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■発行日／令和6年3月28日  
■〒959-0423  
■住所／西蒲区旗屋701-2

## 曾根小子ども見守り隊奮闘記

曾根小学校子ども見守り隊員

旗屋 入澤 輝夫



2月26日、今日も朝からみぞれ混じりの小雨。寒さ対策で普段より長袖を一枚多く着込み、上下の防寒具、黄色の小旗に黄色の帽子、厚手の手袋をつけ、最後にオレンジ色のベストをつけて完璧。県道交差点へ、ただいま午前7時10分、国道へ向かう車、町へ入る車の量が多くなってきた。足元がかなり冷たくなってきた。足踏みをしていると、少し暖かくなってきた。

7時20分、一列に隊列を作り小学校の生徒がやって来た。真ん中に2人の1年生を挟んで、前と後ろに5年生。「おはよう」と声をかけると、「おはようございます」元気な返事が返ってくる。寒さなんか何のその、この時ばかりは、足の冷たさもいえる。「気を付けて行つてらっしゃい」と言葉をかけてやる。ニコニコしながら横断歩道を渡り切る、後ろの5年生が止まってくれたドライバーさんに軽くお辞儀をして感謝を表してくれた。私の心もほっこり。

7時35分、5年生男子がやってきた。「おはようございます」気を付けて行つてらっしゃい」声掛けが終わるやいなや一気に走って行く。その後中学1年生の男子、昨年までランドセルを背負っていたが、随分大人びてきた。その後、高齢のご婦人3人と若い女性4人が横断歩道をわたる。相変わらずクルマの行き来が激しい。

8時、6年生の女の子が最後に渡った。止まってくれたドライバーさんに私も一緒に挨拶して完了。

あとわずかで進級、6年生は中学に、また一歩大人びて行く。



▲まもなくですね。(西川北部線沿いの並木)



▲西川中学校卒業証書授与式(3月5日)

■西川地域の総人口:10,350名(-95名) ■男:4,999名(-56名) ■女:5,351名(-39名) ■世帯数:4,061戸(-32戸)

( )は、前号との比較(令和6年2月末日現在)

## 「升瀉小統合問題への回答」

### 「提言書に対する回答」

令和4年4月27日付の「新潟市立升瀉小学校の今後のあり方に関する提言」を将来を担う子どもたちのより良い教育環境の実現のために受け、当委員会も数回にわたり検討をしてまいりました。

この度、その提言に基づき検討した結果について以下のように回答いたします。なお、今後の情勢について再度の提言があった場合、「西川地域コミュニティ協議会」ではなく、教育行政機関が中心となつて推進することが望ましいと考えます。

### 提言に対する回答

〔要件1〕複式学級を迎える前を目途に、西川地域全体の小学校が長期的な視点で適正な学校規模となるよう、統合を図ること。

〔回答〕適正な学校規模ということについての異論が出され、小規模校であっても十分な教育環境や長所が考えられる。現時点での統合については、地域住民の意見がまとまっていないように考えられるため、もう少し丁寧な意見交換を踏まえて検討していくことが必要である。

〔要件2〕統合にあたっては、学校間の連携を綿密に図りながら交流活動や教職員人事を計画的に行うなど、円滑な統合に向けて児童への十分な配慮と支援を行うこと。

〔回答〕小委員会は、統合を前提に議論を進めるものではなく、地域情勢や地域の課題等について全般的にとらえて是非を検討する会であると考えられる。したがって、統合にあたっての要件は、今後の情勢によって議論されるものである。小1プロブレムや中1ギャップ、不登校問題など課題が山積する中において、統合の結論を待たずにPTAの連携や学校間交流などを推し進め、児童や保護者の不安感を減少させる取組を図るよう推進してほしい。

〔要件3〕通学の安心安全を確保するため、

遠距離の通学や幹線道路・河川などの横断に危険があるのでスクールバス等の運行方法や経路などの詳細については、保護者や学校を含めて協議し、統合までに決定すること。

〔回答〕小委員会では、統合についての方向性について意見を集約することが目途であり、本要件については統合が決定したのちに開催される「統合に向けた準備委員会（仮称）」が検討していくものと考えられる。

〔要件4〕統合により使用されなくなった学校施設や敷地については、地域の要望や実状を踏まえ、避難所としての機能を確保するなど、西川地域コミュニティ協議会と市当局とで協議を進めていくこと。

〔回答〕小学校の跡地利用については、施設管理者や利用者規約等を定めて運営していくことが考えられるが、予算的なこともあり当委員会で検討することは適当ではないと考えられる。

また、西川地域コミュニティ協議会は地域住民のくらしや活性化を踏まえて取り組む組織であり、避難所や施設利用に関する権限はもっていないことから本要件についての検討は小委員会での結論を提案することは難しいと考えられる。

### 総合意見

小学校の統合に関しては、地域住民の歴史的地域や今後の地域情勢等を鑑みて推進すべきものであると考えられる。子供たちの未来を考えることは最重要ではあるが、現時点での児童保護者の意見だけを踏まえて推し進めるものではなく、地域コミュニティとしての核となる学校という施設は、地域住民や今後の情勢等を踏まえて考えるべきである。

小規模校という位置づけから「適正規模」という基準に照らして統合を考えるのではなく、木山小、小瀬小、笠木小、越前小、松野尾小など小規模校が存続していることに照らしてみる

## 福祉協議会のお知らせ

西川地区福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる町づくりのために活動しております。

地区住民の皆様からの会費（1世帯500円）は地域福祉充実のために活用させていただきます。

また、賛助会員の皆様には活動の趣旨をご理解され、多大なご協力に感謝申し上げます、以下にお名前を紹介させていただきます。

- |             |               |                  |
|-------------|---------------|------------------|
| ● (有) 阿部新聞店 | ● 苅部医院        | ● (医) 美郷会 西蒲中央病院 |
| ● (株) アントレ  | ● (株) 古俣工業    | ● (株) 西川クリーナー    |
| ● 植木電業      | ● (株) さいとう不動産 | ● (有) 西川不動産      |
| ● 魚梅        | ● さとう歯科医院     | ● 本マ屋文具店         |
| ● 越前屋薬店     | ● (株) 佐藤造園    | ● 八百政青果          |
| ● 大カタヤ      | ● そらのテラス      | ● (株) 山一起業       |
| ● (株) 重川材木店 | ● 高橋整形外科クリニック | ● 渡邊内科医院         |
| ● (有) 加藤電器  | ● 棚橋歯科医院      | ● 和田内科医院         |

(五十音順)

と、升瀉小の教育的メリットは大切にしていくな必要があるものと考えられる。

また、これらの小規模の児童の教育的な意義は、これまでのところ将来にわたって危惧すべきところはありません。小規模校出身ということでの人間関係上の困難は認められていない。それよりも、母校を愛する絆であったり、故郷に思い入れを持つたりする情意が強く反映されるものが多くみられる。

升瀉小学校のメリットを生かし、デメリットに目を向けながら、今後の地域住民や保護者の意見を再度確認することが望ましいと考えられる。

したがって、本委員会としては、地域住民との意見交換を綿密に行った上での方向性を示していただき、検討を進めていくことが必要との結論に至った。

## 【暮らし】 小さな地藏さん

鮎 青柳 文恵

鮎一区の「火の見櫓」脇の消防器具置場の裏手、「18体の小さな地藏さん」が祀られている祠があります。

お参りする人もまばらで、夏など草をかき分け手を合わせるしかない、この祠。誰がいつ頃建てたものか。鮎の団地が造成され始めた頃、田の畦にあった小さな像をこの場所に集め祀ったもの、と老人より聞いています。

平成の初め、ある老人クラブ会員（故人）がその地藏さんに赤い肩掛けを、月1回掛けてやっていました。

私達はボランティアで毎月1回「地域の茶の間」を開催していました。12月の計画に、地藏さんの帽子と衣を縫う事を提案、平成19年から始めました。赤い布や糸は社協から頂く助成金を利用しました。

11月に縫い針や指ぬきを持った15〜20人、半日で仕上げます。12月31日、午前10時、有志数人での着せ替え作業。古いころもを脱がし、地藏さんのほこりを払い、新しい衣に。地藏さんも、うれしそうな表情にみえました。

茶の間での衣装づくりも16年続きました。長く続きますよう祈っております。



## 【高校生奮闘記】 活動まとめのコンペへの出品と、 地震からの再生

新潟工業高校・建築部の挑戦

9月末、私たちは秋田県立大学主催の高校生建築提案コンペに作品を出品しました。コンペのテーマは「めぐる建築」でしたので、私たちの班は、かのうハウスが地域に「めぐらせる効果」と



曾根についてまとめた作品を制作しました。入賞はできませんでしたが、講評では、「めぐる建築」のめぐる内容についての説明が不十分と感じましたが、説得力があり、大きな可能性を秘めているプロジェクトだと思いますので、ぜひ今後も継続してより良いものとしていただければと思います。」とあり、私たちのプロジェクトに大きな応援を頂けた事を感じました。



(須貝 稀丹)



私たち新潟工業高校・建築部は曾根にある旧前山洋服店を「かのうハウス」と名付けて様々な活動を行ってきました。本を収納するため木で本箱を手作りしたり、傷んでいる壁に漆喰を塗ったり、畳の床に木を貼りフローリングにして広く使えるようにするなど、改修工事を進めてきました。しかし、今年の元旦に起きた能登半島地震で、前面のガラスが割れ、漆喰の壁も剥がれて落ちてしまうという被害を受けました。ですが、また今年の春から、再生のための補修や改修作業、他にもイベント活動を行っていきたくと思っています。

頑張りますので  
応援頂けたら嬉しいです。



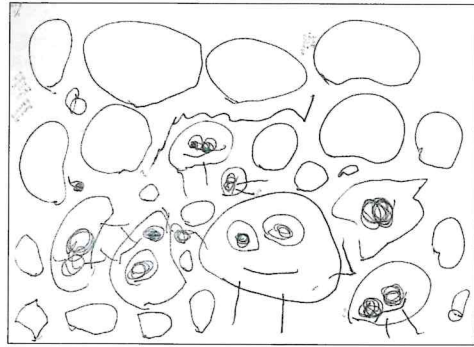
(浅野 遼)



【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ ③④  
ガンバって かいたよ!

鎧郷保育園



「まめまき」

あかおにとあお おにに、まめを バーン!とがつつ ころ、たのしかつ た!でもちよつと だけあたらなかつ た。

五十嵐 匠海  
5才児クラス (かめくみ)

「角田山登山」

山のぼり疲れ た。景色がきれい だった。

なかの かなた  
中野 奏向  
5才児クラス (かめくみ)



鎧郷保育園の描画活動について

子どもの絵は見るだけでなく、聞くものとして生活の世界を広げ、学び続ける力の土壌を作っていきます。

【国際通信】

バレンタインの発祥はイタリアだった?

稲川 祐子

2月14日はバレンタインデーでしたね。日本 はチョコレートを送ることで好きな人に気持ちを 伝え、特に女性たちにとって重要な日です が、イタリアでは主に男性から女性へプレゼント を贈り、愛を確かめ合うイベ ントで、「サン・ヴァレンティノ の日」と呼ばれ、ローマ帝国時 代の聖人の祝日です。愛の聖 人の象徴として恋人同士、夫 婦、愛する者同士の間では愛 の誓いを交わす日とされてい ます。



サン・ヴァレンティノ(聖

ヴァレンティノ)聖ヴァレンティヌス)は、ウンブ リア州のテルニという町に由来する聖人です。

2月14日この日はキリスト教の司祭であった ヴァレンティヌスの命日なのです。

時はローマ帝国時代、当時の帝国ではキリス ト教は異教として禁止、兵士の恋愛禁止が定 められていたようですが、時の皇帝クラウディウ ス2世は、愛する人を故郷に残した兵士がいる と士気が下がるという理由で、ローマでの兵士の 結婚を禁止していません。それでも、人を愛す る気持ちは止められないもの。愛する人と結婚 したいと望む兵士たちをみかねたヴァレンティ ヌス司祭は、そんな兵士たちのため秘密裏に結

婚式を行っていま

した。しかし、この ことが知れてしま い、司祭は捕らえ られ、死刑になり ました。権力に背 くことを恐れず、

愛を信じ、人々の愛を結び続けたヴァレンティヌ ス司祭は、後にキリスト教において愛の守護聖 人とされ、その命日、西暦269年2月14日は 聖ヴァレンティヌス(英語読みでバレンタイン)の 日の祭日となりました。愛の守護聖人を祭った 日なので、愛の日となったのです。

サン・ヴァレンティノは、今では「恋人たち (愛、結婚、家庭)の守護聖人」として熱心な信 仰を集めています。もともとは医者で、「てん かん病、ライ病、疫病、家畜、養蜂家、子ども、の 守護聖人」だったとか。

おいしいチョコレートもいいですが、愛するこ とさえ許されなかった時代があったこと、そし て、今、たくさん祝福を受けて、心いっぱい人 を愛することができるありがたさを心にとめ たいで すね。



これまで、そしてこれから(第四話)

元鑑郷小学校教員 井口 昭夫

今、憧れのアフリカで真っ黒になりながら働いています。JICA(国際協力機構)の「青年海外協力隊」です(私は残念ながら、もう青年ではありませんが...)。

まず、アフリカの歴史です。アフリカは、欧米の「奴隷貿易」と「植民地支配」によって多大な被害を受けてきました。今、アフリカの国々や黒人が抱えている諸問題(内戦・人種差別など)は、それらが主な原因です。とんでもないことを欧米はやっていたわけです(※お勧め映画「ホテル ルワンダ」)。

さて、そのアフリカですが、二〇五〇年には世界の四分の二(二十五億人)がアフリカ人になり、資本主義最後のフロンティアと言われるようになるそうです。アフリカを避けてビジネスはできない時代が来ます。それほど、現代のアフリカの成長や爆発的なエネルギーは素晴らしいものがあります。

そのアフリカ大陸の南に位置するボツワナに昨年十月から赴任しました。首都近郊に位置する村の小学校で、これから二年間、教育技術の伝達をします。文化も生活習慣も、自然環境も全く違う国での暮らしは、自分の思い通りにはならないことばかりです。その不便さを、仕方なく(笑)楽しみながら暮らしています。

赴任時の二大シヨック

①アジスアベバでのロストバケツジ事件

(私のミスで荷物の半分を失った。PCや電子機器、資料、服やお土産等。マイナスからの出発となった。選り抜いた荷物だったのに！)

②教育省が買ってくれた使えない冷蔵庫事件

(もらった冷蔵庫が冷凍庫しか使えず、一カ月間それで自炊。二台目も来てすぐに、扉が落下。何とか現在では、ごまかして使用中。)

日々大変だったのが、「暑さ」と「虫」です。どんなに暑い日でも夜は防犯上、窓を閉め切つて就寝します。停電の日は最悪でした(でも日本と違い、湿度が低いので日中の日陰はとても涼しいです)。虫も強敵。毎日、戦っています。アリから始まって、ガやハエや名前も分からない虫たち。最近では中国製の腰のないハエたたきを上手に使い、見つけたら瞬殺です。

さて、派遣されたボツワナですが、アフリカの「優等生」と言われています。他の国より政治的に安定、経済的にも豊かだからです。初代の大統領が大変素晴らしく、政治・経済・教育面で今のボツワナの基盤を築きました。ちなみに彼の半生はアメリカで映画化されています(日本ではリリースされませんでした)。アパルトヘイト下で結婚した彼の奥さんは、なんとイギリス人の女性でした。

今のボツワナは、とてもものんびりとしています。人々も明るく親切です。物価は日本とそ

れほど変わらないですが、牛肉はとても安く感激の美味さ！週に二回はビーフステーキを食べています。現在のボツワナの経済的な支柱は、ダイヤモンドと牛肉、そして観光だそうです。ただ、仕事に就けない人が多いので、政府は経済の多角化を図っています。

憧れのアフリカ生活を始めて三か月。まず適応し、全て自分で考え、行動しなければなりません。なかなかハードですが、今は、周りの人たちとの信頼関係を構築している最中です。文化・習慣、言葉の壁を乗り越え、自分のできることをボツワナの人たちのために、誠意をもって続けていく事！二年間、それを忘れずに頑張ります。

世界の多様性、不思議さ、面白さを日々実感しながら、自分とちよつとだけ違う人たちとの共生を学んでいるような毎日です。



Serameng  
小学校の先生方とグラウンドで遊ぶ5年生

郷土史家・大橋三郎氏の編著

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

郷土史関係の出版物は大体三百部ほどの印刷が多く、また個人の出版物には入手が難しいものがたくさんある。一方、江戸後期の人物が出版した本を探して、だめだと思いつつ県立や市立図書館に当たってみて、運よく架蔵されていた例もしばしばである。著者やその後の所有者が寄贈していたおかげだ。今日のルールで個人情報に関わる特別な出版物を図書館が受け取れないケースがあると聞くが、悩ましい問題だ。そもそも筆者の扱う内容などは、まるまるすべて個人情報に当たろう。

さて話題の角度を変えて、旧西川町でもたくさん尊い歴史図書、ふるさとの特色をつづつた名著が出版されている。近年では六分在住の大橋三郎さんが、大著を次々に世に送っている。ご高齢にもかかわらず、寒暑を問わず、まさに断簡零墨の類を一生懸命に集め、自費刊行されているのだ。毎回本を拝領するにつけ、他者が到底できるものではないと感嘆するばかりだ。願わくば、この少数の刊行物が、公的機関やしかるべき収蔵先にわたり、後世まで西川町の語り部として大切に伝えられますように。そう願いつつ、ここに概要を紹介する。

①『長岡藩曾根代官所 小川善右衛門と歴代代官』(H29・3刊)

田子了祐氏の教示により見帯集落から撮影した代官所写真が宮内庁書陵部に所蔵されていることを知り、大橋氏は一般に広く知ってほしいと思った。またかつて氏が作成した歴代代官覧の補訂を中心に、関連する資料を集め一冊にしたもの。

②『西川町初代教育長 杉山泰三先生』(R3・3刊)

杉山氏は竹野町大地主の出身。昭和二十二年四月曾根町立曾根中学校校長、同三十年新制西川町の初代教育長となる。翌年から地域の声を受けて西川地域への県立高校誘致活動の推進役となり、同四十二年四月の西川竹園高校開校が実現した。倉品町長、当時勤務した人々の文も収め、竹園高校閉鎖までの沿革史の一助となる。

③『曾根義人 高橋源助翁を讃え偉業を偲ぶ』(R4・8刊)

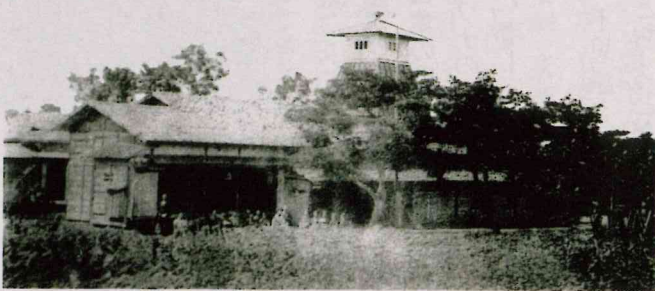
「曾根割前樋管伏替記念写真」(S11・12・16)、「巻町大字割前田畑閉伏図面」「天竺堂筒中才図」等の写真図面、加藤孝一の記録から『よるぶち』掲載文などの短文にいたるまで、関連資料を集め一冊にしたもの。高橋源助は今から約三五〇年前の江戸前期、低湿地帯の水田開

発に尽力、命をかけて西川右岸の割前村から約六キロに及ぶ水路を掘削したという。六分集落では今も大切にまつられている。

文末に親族の本間新一氏の文があり、大橋三郎氏の半生を読むことができる。

④『文武両道の長岡藩曾根代官 小川善右衛門 号小川当知 雅号朝寝房起』(R5・12刊)  
代官在任(一八五六～一八六四)小川善右衛門の、文人肌の事蹟を主に編集した二冊。あわせて曾根代官所資料も再度まとめ直されている。

長岡藩曾根代官所  
小川善右衛門と歴代代官



▲「長岡藩曾根代官所 小川善右衛門と歴代代官」実物は縦26、横36センチの大型本です

# ジュニアクラブ 紹介

今年こそ興味のある事にチャレンジしてみようか、挑戦させようか、と思っている人にジュニアクラブを紹介します。  
お問い合わせしたり、できれば見学、体験などして見てください!

## 西川ジュニアベースボールクラブ

1年生から6年生までの野球クラブです。現在20名(男子18名、女子2名)の子どもが在籍しています。

野球に興味のある子ども、お子さんに野球をさせたいと考えている親御さん等、少しでも関心がありましたら、まずは見学・体験してみませんか。気軽にお問い合わせください。

### ○練習日・時間・場所

毎週土・日/8:30~12:30  
西川中学校グラウンド  
(雨天時は曾根小学校体育館)  
毎週火曜日/19:10~21:00  
鎧郷小学校体育館

### ○服装

ジャージなど運動できる服装・運動靴(体育館は内履き)

### ○持ち物

水筒、タオル

### ○会費

月2,000円

### ○問い合わせ

寺口 祐司  
(090-7228-0187)



## 西川FC



スポーツ玉入れ大会にて。

私たち西川FCは、2001年から活動しているジュニア年代のサッカーチームです。

### ○練習日・時間・場所

毎週月・木曜日/19:15~  
土曜日/13:00~  
西川体育センター・鎧郷小学校

### ○会費

保育園児 無料  
小学生 月1,000円

### ○問い合わせ

毛島 貴幸  
(090-4710-6286)



## 西川SHOOTING☆STARS



西川SHOOTING☆STARSはU12世代(小学校6年生以下男女)のミニバスケットボールチームです。

未来のAKATSUKI JAPAN目指して頑張っています。

男女とも新入部員募集中です。体験入部・見学も随時可能です。

西川地区以外の方も入部大歓迎です。

### ○練習日・時間・場所

月・水曜日/19時~21時  
曾根小学校体育館  
毎月第1・3金曜日/19時~21時  
鎧郷小学校体育館  
土曜日/13時30分~16時30分  
曾根小学校体育館

### ○部費

3年生以下 月額 500円

4年生以上 月額 1,000円

### ○問い合わせ

前山 誠志  
(090-7522-3816)

## 代官太鼓鼓調

### ♪ドンドンドン ドンドンドン♪

皆さんも音を体で感じてみませんか?

地域行事等で演奏活動を行っています。

随時「仲間を大募集中、興味のある方どなたでも」

西川学習館講堂で、毎月第2土曜日と第4火曜日の夜7時から練習していますので、いつでも見学においでください。



### ○電話でのお問い合わせは

代表 笠井(090-4815-4906)まで

## 西川リトルスワンバレリーナ

クラシックバレエを楽しくわかりやすく学んでいます。



### ○練習日・時間・場所

毎週金曜日/18時~19時半 西川学習館

R6年3月29日、4月5日、12日、19日、26日は

無料体験会を開催します! 練習着、シューズ貸出有り

※興味がある人は、見学や体験に来てくださいね♪(要事前連絡)

○問い合わせ 代表:土田 080-9541-4210

【図書館】

読書と音楽の新しい楽しみ方

新潟市立西川図書館 石垣 燿太

近年、小説や童話などの物語をモデルとした曲が多く、音楽アーティストたちによって発表されていることをご存じでしょうか。

私はよくY O A S O B I というアーティストの楽曲を聞きますが、その楽曲はほぼすべて小説がモデルになっています。例えば「夜に駆ける」は星野舞夜の『タナトスの誘惑』が、「セブンティーン」は宮部みゆきの『色違いのトランプ』がそれぞれモデルになっています。他にもヨルシカや米津玄師などの音楽アーティストたちが物語をモデルにした楽曲を発表しています。各曲のモデルについては動画投稿サイトにある各曲のミュージックビデオの概要欄等に記載されています。

これらの曲を聴いた後にモデルになった物語を読むと、新たな視点から物語を見られるようになります。曲の歌詞や音楽の構成と物語が関連付けられ、ただ物語を読んだ時よりもリアルな情景が浮かび上がってきます。このような新たな読書の楽しみ方を図書館で探してみませんか。



図書館内「文学」のコーナー(西川図書館)

【防災】

出動件数が増えました!

西蒲消防署西川出張所長 石山 拓己

新潟市では、昨年の緊急出動件数が令和4年に比べ火災・救急共に増加しました。

火災件数は、26件増加し、172件で政令市移行後最多となりました。主な原因は、電気関係が最も多く、次いでたばこ、こんろ、ストーブの順となりました。電気関係が原因の火災は、近年増加傾向にあります。電気機器や配線に損傷・変形があれば使用はやめましょう。火災は少しの不注意から発生していますので、火気使用時は、その場を離れず消火まで確実に行いましょう。次に救急件数を見ると、3086件増加し、45405件と過去最多で、これは1日平均124件、12分に1回の出動となります。救急車は限りある資源です。呼ぶか迷ったら、救急医療電話相談の活用をお願いします。電話番号は、概ね15歳以上は【#7119】、15歳未満は【#8000】。利用時間は、毎日19時から翌朝8時までとなります。本日に救急車が必要な方のため、ご協力をお願いします。

救急医療電話相談 #7119  
小児救急医療電話相談 #8000

いたんだまま使わない  
プラグにほこりためない

消さないよ! ぬいものをのせない

コードをたばねない  
タコ足配線をしない

3/8 国際女性デー 記念  
女性の活躍シンポジウム  
あなたも輝く女性になれる!  
(3/9新潟日報メディアシップで開催)  
講演趣旨

【タイトル】途上国の「現場」が教えてくれたこと

発表者 江端 菜々子(新潟市出身)

私にとって忘れがたい途上国の現場が二つあります。一つはJICA青年海外協力隊として派遣されたアフリカ東部のマラウイです。マラウイでの経験が、途上国の実態を傍観するのみだった私に、当事者として途上国に関わるとはどういうことかを教えてくれました。もう一つは現地法人立ち上げのために派遣されたタンザニアです。タンザニアでの経験は、国際開発のキャリアを歩き始めた私に、当事者として途上国に関わる難しさを教えてくれました。こうした経験の後、JICAに入構し、現在は高等教育支援や留学事業を通して、途上国の発展に貢献しようと努めています。

日本人初の国連難民高等弁務官として現場主義を貫く緒方さんの活躍に刺激を受け、私は途上国に関わる仕事を夢見るようになりました。

緒方さんへの憧れから始まり、JICAで国際開発のプロとなった私の歩みが、これからグローバル社会に生きる皆さんの選択肢の一つとなれば幸いです。

訂正とお詫

本誌12月発行の第56号「幼児教育」菅根おひさま子ども園の記事中、園児のお名前読み方に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。  
高橋 亮佑(誤) けいすけ  
(正) りょうすけ

編集後記

能登半島地震で被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。災害から命を守ることが第一です。日頃から考えておきたいのは素早い避難、最新の安全情報を得る事だと思います。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義  
榎本 博 土田正博